E15020T25

DEPARTMENT OF PHYSICS
OSAKA IMPERIAL UNIVERSITY.

Yukawa Hall Archival Library
Research Institute for Fundamental Physics
Kyoto University, Kyoto 606, Japan

数物年会
原子核討論会

メソトロンに関する一般的解説
(昭和十四年四月三日
京都帝大記念講演)

[illegible]を中心とすると、むしろ理論は大体行きつく所まで行き着き、多くの問題は実験的問題となって残りまして、これらの問題は[illegible]方面の研究が[illegible]可能かもしれません。ですからこの講演に出席された[illegible]方々の[illegible]suggestionを[illegible]頂くことは誠に[illegible]講演者[illegible]かもしれません。

今回数物年会が京都帝大で行はれますに当りまして、貴兄の方々の御配慮によりまして、メソトロンに関する討論会に当てられましたことは、[illegible]一日を割いて、殊に私共この方面の研究を専門としてゐる者に取りまして、大変有難いことと感謝致してゐます。[illegible]唯、残念なことは私共の研究室と取しまして、殊に[illegible]討論して頂く[illegible]他の新しい材料を持つて居ないことであります。[illegible]御期待に対しまして甚だ相済まぬことと思つて居ります。

扨て唯今色々御講演がありましたので、甚だ蛇足とは申せますが、御参考の為の[illegible]簡単に説明致しまして、メソトロンに関する一般的な解説を致しまして、[illegible]それと同時に、[illegible]御存知のやうにメソトロンが宇宙線中に発見されましたのは一昨年の事であります。[illegible]その後多くの人々の研究によりまして、i)質量は大体

i) 質量 mass

$$m_\mu = 100\,m \sim 200\,m \qquad (1)$$

といふの範囲であることがわかりました。但し、果してそれが唯一かどうか、又100mは下、200mは上のものが絶対ないかどうかは[illegible]実験上からは何ともいへません。

~~ii) 荷電 charge は +e 及び -e の両方あることは確かであります。~~

理論の方では mesotron の質量と nuclear force の range $\frac{1}{\kappa}$ $\left(\frac{e^{-\kappa r}}{r}\right)$ との間に

©2018 YHAL, YITP, Kyoto University
基礎物理学研究所 湯川記念館史料室